

日交研シリーズ A-574
平成 24 年度研究プロジェクト
「宅配ビジネスにおける輸送ネットワーク構築に関する研究」
刊行：2013 年 7 月

日本と中国における宅配便の輸送ネットワークに関する研究
Logistics Network of Parcel Delivery Service in Japan and China

主査：根本 敏則（一橋大学大学院教授）

Toshinori NEMOTO

要 旨

宅配便などの物流ビジネスにおいてネットワークをどう構築しサービスエリアを拡大していくかは極めて重要な問題である。日本においては、全国規模のネットワークはすでに構築されており、多くの宅配業者が全国的に翌日あるいは翌々日配送を実現している。こうした企業にとっては、既存のネットワークをどのように効率的に活用するかが今後の課題となる。とりわけネット通販の利用者が急激に拡大していることを背景に、ネット通販業者が自前で大型倉庫を設置するなどして物流の分野に進出するケースもあり、国内の宅配業者にとってはサービス水準を落とすことなく費用を削減するための努力が求められている。

一方、中国をはじめとするアジア諸国においても、インターネット通販などを中心とした宅配事業の需要が高まっている。こうした地域においては、宅配ネットワークの構築は発展段階であり、今後どのようにネットワークを構築していくかが当面の課題となっている。この点において、日本でどのようにネットワークが拡大してきたか、その歴史から学べる点が多い。また、中国独特の環境、とりわけ多くの規制政策が宅配事業の発展に与える影響を考察することも重要である。

以上を踏まえ、本研究会では、はじめに輸送ネットワークに関する先行研究をレビューし（第 1 章）、次いで日本における宅配便発展の背景を明らかにした（第 2 章）。そのうえで、中国宅配便市場の現状とそれに影響を与える規制政策を整理し（第 3 章）、さらに中国において新たに出現してきた民間型直営企業のケースを紹介した（第 4 章）。続く部分では宅配便ネットワークにおけるターミナル間輸送モデルの構築を試みた（第 5 章）。加えて、中国における物流を考えるに当たり、香港の果たす特殊な役割に注目し（第 6 章）、香港と近郊に位置する塩田との比較をしている（第 7 章）。

キーワード：宅配便、ネットワーク構築、インターネット通販、中国、香港

Keywords : Parcel Delivery Service, Network Construction, Internet Shopping, China, Hong Kong